

著・原 和規

イラスト・広瀬コウ



AJBRC文庫

魔法があっても
いいじゃないッ！

この電子書籍はコミックマーケット 95 で
頒布したものを電子書籍用に再構成したものです。

AJBRC文庫

魔法があっても
いいじゃないツ！

著・原 和規

あ 三 二 一 ま
 と 未 魔 魔 え
 が 来 法 法 が
 き を の っ き
 か お て
 え べ ね
 な ん °
 く き
 ち よ
 や う
 ! 会

も

く

じ

・ ・ ・ ・ ・
 ・ ・ ・ ・ ・
 ・ ・ ・ ・ ・

3 2 1
 7 3 1 5 3

まえがき

みなさん、お元気ですか？

この度はA J B R C文庫『魔法があってもいいじゃないッ!』をお手に取っていただき本当にありがとうございます。この作品は二〇一七年八月にオーディオブックとして頒布させていただいた作品の書籍版です。

当初は読み切りの、一回だけの作品として作者であるぼく自身書かせていただいたのですがぼく自身この子達の活躍をもう少し見てみたくなり今回『魔女のマギー』としてシリーズ化することにしました。

せっかくなのでもっといろんな方に作品を手にとらせていただきたいなと思ひまして第一弾を書籍化しました。

第二弾以降もオーディオブック化しつつ書籍化したいと思っています。
前置きがすっかり長くなってしまいました。

今回のお話は『魔法』と言う物が普通に存在する世界に住んでいる女の子達が日常のちよつとした事件（と言っても今作は大事件ですが）を魔法で解決していくお話です。

ぼく達が住んでいる世界では魔法は日常の物ではありません。

（でも、ひよつとしたら知らないかもしれませんが・・・）

これは魔法がもし日常にある世界だったらこんなことになっていたんじゃないかと言う想像の世界を描いたファンタジー作品です。

それではお待ちせしました次のページからいよいよ物語が始まります！

1. 魔法ってね。

一・魔法ってね。

中世ヨーロッパ、魔女、魔法使いは激しい弾圧を受けていました。

「どんな弾圧を受けていたかって？」

それは、あまりにもきつく想像を絶するような弾圧でした。

魔法を使った、魔法を使ったと噂された人は大人だろうが、子どもだろうが、女だろうが、男だろうが捕らえられ、火あぶりにされたり、水攻めにされたり、それはそれはひどい扱いを受けていました。

でもね、みんな。もし、中世ヨーロッパでそんなことがなかったらどうなっていたと思う？

みんなの世界ではこうだったけど、もし、もしもね、魔法を使う人が使わない人、使えない人と仲よく暮らせていたら・・・

そう、私が住んでいるこの世界のようになっていたかもしれない。

1. 魔法ってね。

私の住む世界には魔法を使う人とそうでない人がいるの。

でも決して魔法を使う人は魔法を使わない人をからかったり、馬鹿にしたり、いじめたりしない。もちろん、魔法を使わない人、使えない人も魔法を使う人をいじめたりなんてしないわ。

まあ、でもときどきはお互いにいたずらしちゃうこともあるんだけれど・・・

私の名前は『土岐真紀』。

ごくごく普通の小学五年の女の子。

ごく普通に学校に通っているし、友達もいる。

でもね、私、魔女なんだ。

魔女って言ってもみんなの世界の絵本に出て来るような魔女のおばあさんみたいな顔はしていないよ。

1. 魔法ってね。

あつ、その君、今疑ったでしょ。

本当に普通の顔なんだからね。

って、私ったらさつきから顔のことばかり言ってる。こんなんじや『絵本の魔女のおばあさんみたい』って言っているようなものじゃない。本当に違うからね。

うん。そうそう信じてくれればそれでいいの。

私達の世界の魔法を使う人ってほとんどの人は元々、魔法の使える家に生まれた子がほとんどなの。私だって、おばあちゃんのおばあちゃんやおじいちゃんのおじいちゃん達も魔女や魔法使いだったって聞いたし。

それに私のお母さんだって魔女だしお父さんも魔法使いだもんね。

でもね、ときどき魔法を使う人の家じゃない人も魔法が使えるようになることがあるみたい。みんなもちよつと練習すればかんたんな魔法なら使えるようになるかもしれないしね。でもまあ、私達のような魔法が使えるようになるにはうんと練習しないといけないかもしれないけど。でもきつと。

1. 魔法ってね。

そうそう。私の家は今は日本に住んでいるけど私のおばあちゃんはイギリスから日本に
来たんだって。

おばあちゃんが話してくれたんだけどイギリスでは魔法が使えない人でも魔法が使い
たい人は塾みたいなどろに行つて魔法の練習をするんだって。

でも日本にはそんな塾って聞いたことないし、みんなどうしてるんだろ。

日本のみんなは魔法って興味ないのかな？

『ない』ってことはないよね。だつて学校の休み時間に私のところにみんな「魔法を教え
て」って来るし・・・

そうか！日本には塾はないけどみんな私達みたいな魔女や魔法使いに教えてもらつて
るんだ。きっとそう。

そう言えば、私が家に帰ると近所の人が集まつてお母さんと一緒に何かしてるのがある
しなあ、あれって魔法を練習してるのかも。

1. 魔法ってね。

かんたんな魔法なら私もみんなに教えられるけど難しい魔法だとまだ上手く教えられない。私は元々魔女だから難しい魔法でもほとんどのは出来るんだけど何だか友達に教えようとすると上手く教えられない。

みんな「コツを教えて。」って言うんだけど、コツねえ・・・
コツってあるのかなあ・・・

私、いつも普通に魔法を使ってるから全然わからないや。

そう言えば、さっき、私のおばあちゃんはイギリス生まれって言ったけど、なんと！私の名前っておばあちゃんが付けてくれたんだ。

私の『真紀』って、『マギー』って女の人の名前なんだけど日本で生まれたから『マギー』より『真紀』の方がいいかなって、そうしたんだって。

でも私は、どっちも好き。

友達の子達は私のこと『マギー』って呼んでるし。

1. 魔法ってね。

でも男の子達は『ドギマギ』って呼ぶんだ。

苗字と名前をくつつけて『ドギマギ』だと思ってたらしいも『ドギマギ』してるからなんだって。

そんなに私ドギマギしてるかな・・・

うーん・・・

えっと・・・

えっ、あつ！

確かに、ドギマギしてるかもしれないな。

ここまでお読みいただきありがとうございました。
もし気に入っていただけましたら続きは有料版を
お読みください。

作者